

社会と情報における  
「情報モラル」に関する標語作成の授業実践報告

第9回全国高等学校情報教育研究会全国大会（神奈川大会）

専修大学

2016.8.9（火）

神奈川県立鶴見高等学校 情報科 井本絵里

# 本日の発表内容

---

1. はじめに
2. 実践内容
3. 結果と考察
4. まとめ



---

はじめに

---



## はじめに【自己紹介】

---

- ▶ 井本 絵里（いもと えり）
  - ▶ 情報科教員（2年目）
  - ▶ 鶴見高校 所属
  - ▶ 熊本 出身



## はじめに【本校の紹介】

---

- ▶ 神奈川県立 鶴見高等学校
- ▶ 生徒数：953名
- ▶ 全日制の普通科



- ▶ スマートフォンの使用に関する生徒指導が増加傾向
  - ➡ 情報モラル教育の重要性が高まっている



## はじめに【情報科の紹介】

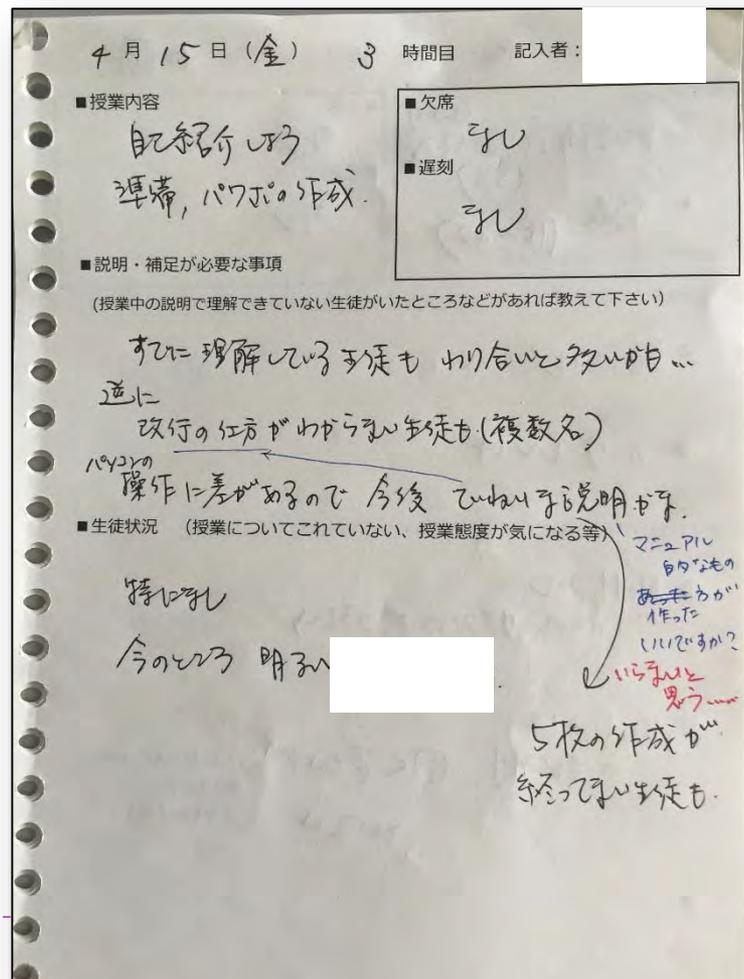
---

- ▶ 科目「社会と情報」
- ▶ 対象：1年生 318名  
(男子 213名 女子 105名)
- ▶ クラス：40名（39名） × 8クラス
- ▶ 授業数：50分 × 週2回（2単位）
- ▶ 教科書：実教出版「高校 社会と情報」



# はじめに【TTについて】

- ▶ TT 6名（2クラス×2名、1クラス×4名）
- ▶ 打ち合わせ：
  - ▶ 授業前後の休み時間
  - ▶ 授業資料・レジューメをフォルダに保存、各自確認
- ▶ 授業時：
  - ▶ 出欠確認
  - ▶ 関心・意欲・態度の評価（授業ノートへの記入）



# はじめに【年間指導計画】

昨年度まで

今年度

4~7月

文書作成  
アニメーション

**情報モラル**

定期考査

9~10月

座学  
・アナログとデジタル  
・2進数の計算  
・情報モラル（著作権）

表計算  
文書作成  
アナログとデジタル  
画像処理

定期考査

定期考査・実技テスト

11~12月

表計算

1~3月

プレゼンテーション

**問題解決**

情報教育のキーワード

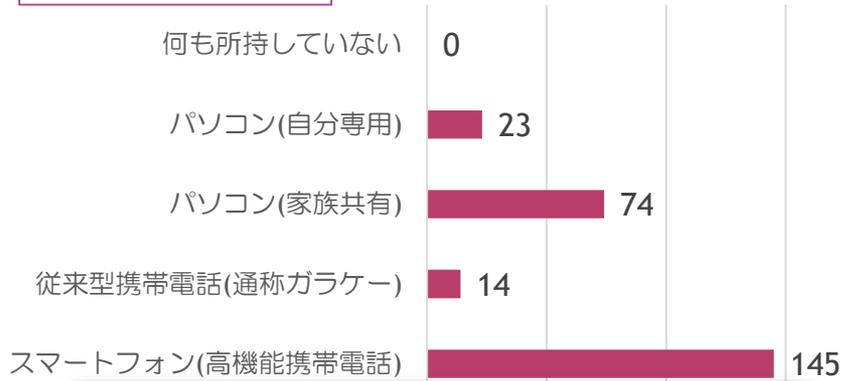
---

トライ & エラー



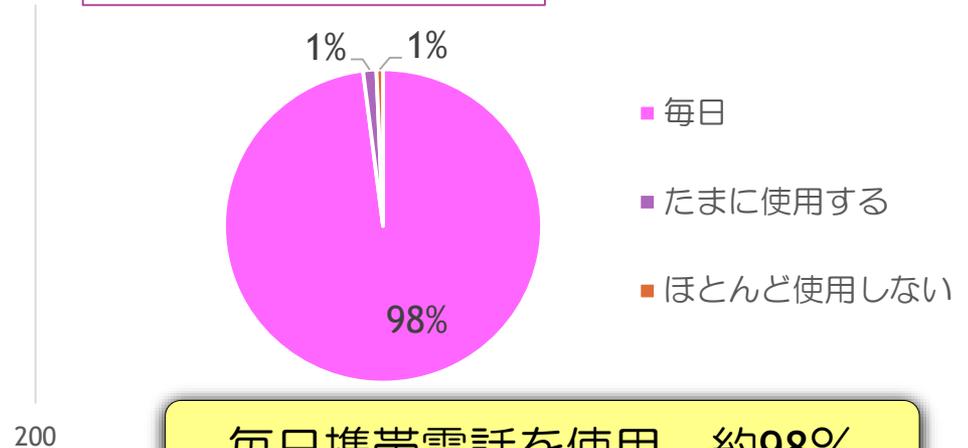
# はじめに【本校生徒の携帯電話の使用状況】(n=150)

## 1.所持する機器



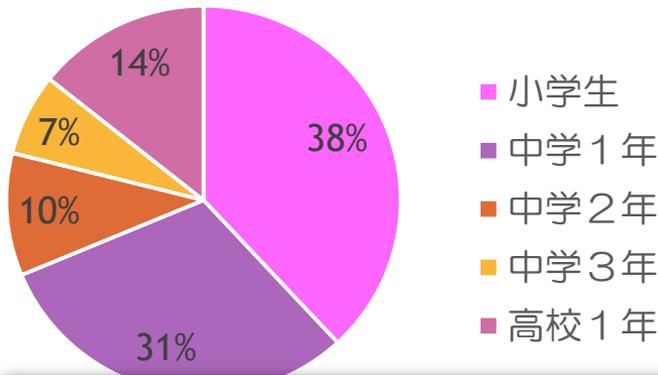
スマートフォンの所持率 約97%

## 2.携帯電話の使用頻度



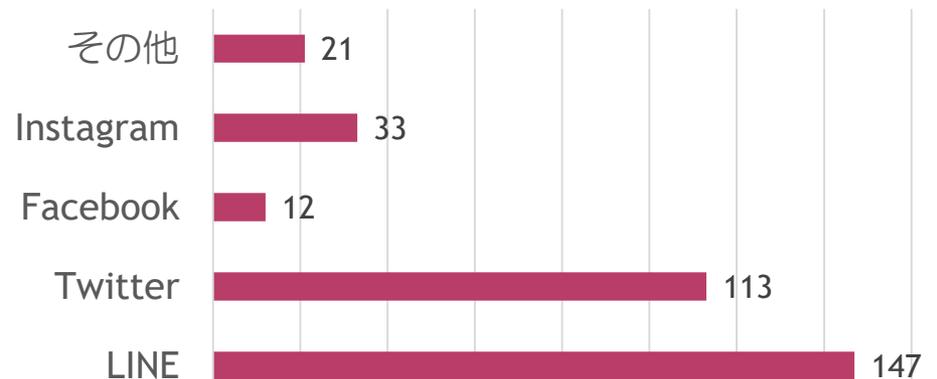
毎日携帯電話を使用 約98%

## 3.携帯電話の利用開始時期



高校入学前に使用開始 約62%

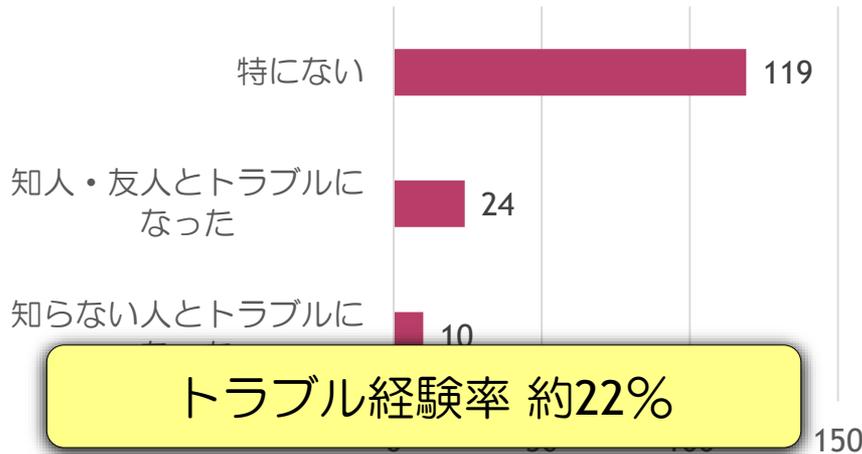
## 4.よく利用するアプリ



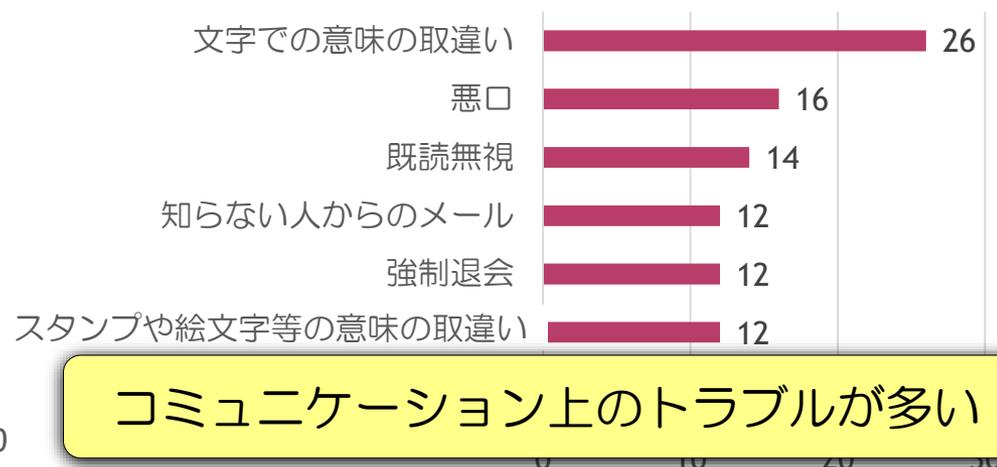
LINE使用率 約98%

# はじめに【本校生徒の携帯電話の使用状況】 (n=150)

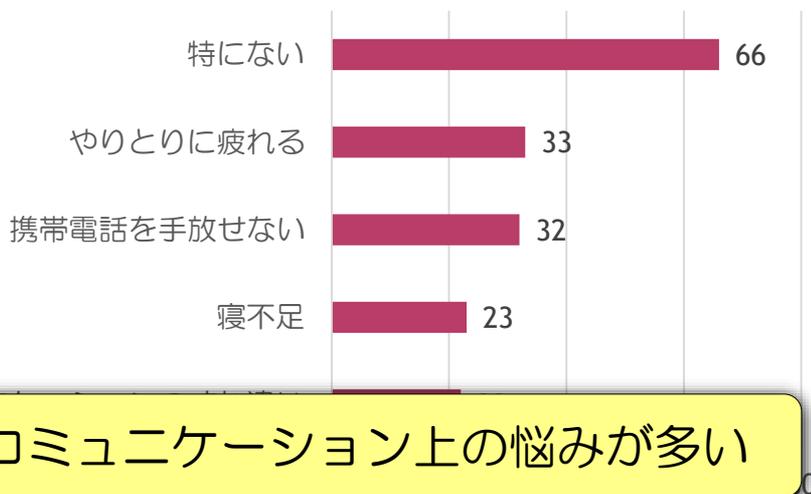
## 5.トラブル経験の有無



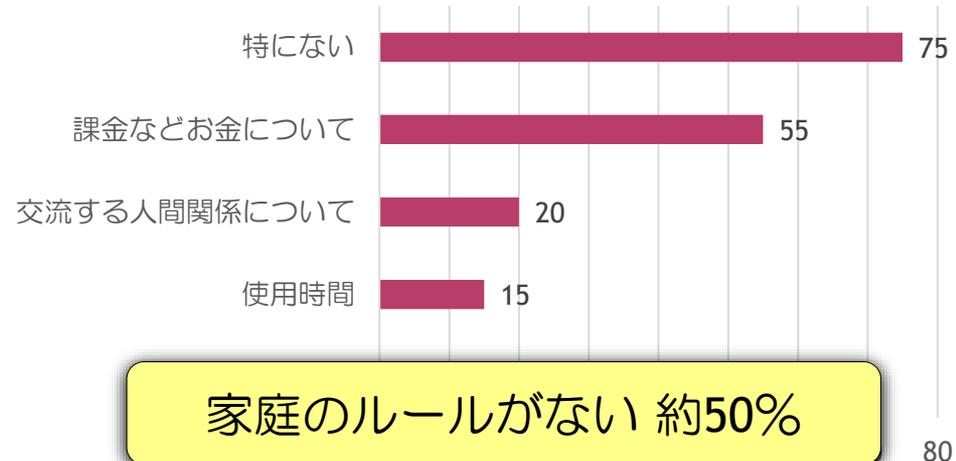
## 6.トラブルの内容



## 7.困っていること



## 8.家庭のルール



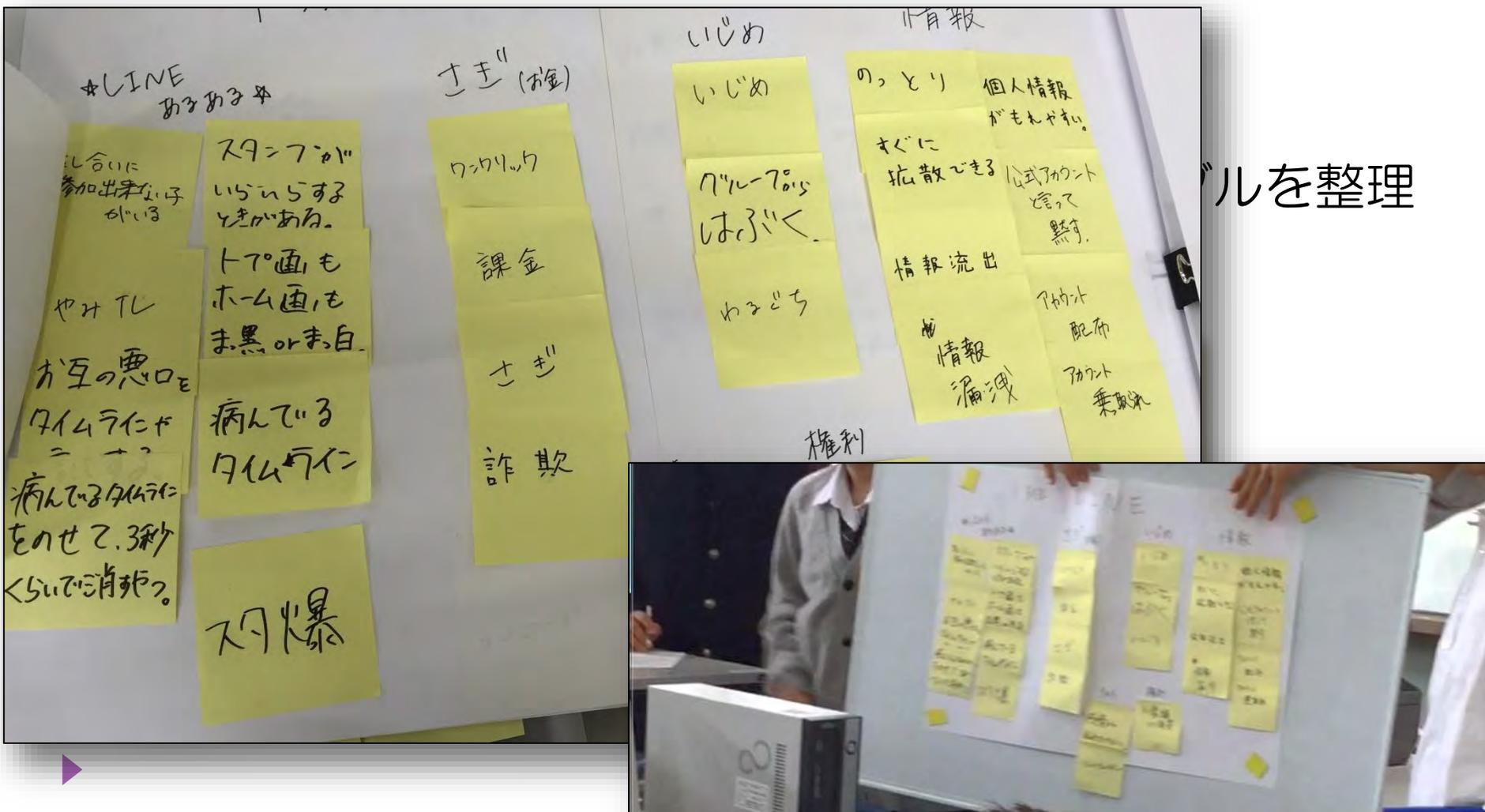
---

# 实践内容



# 「情報モラル」の単元構成

## ▶ 前期（4～7月）



## 「情報モラル」の単元構成

### 【①ネット越しのコミュニケーション】

---

- ▶ 1時間目：知人とのネット越しのコミュニケーション
- ▶ 2時間目：不特定多数の人とのネット越しの  
コミュニケーション
- ▶ 3時間目：情報社会を生きるうえで
- ▶ 4時間目：標語をつくろう
- ▶ 5時間目：標語をポスターにしよう

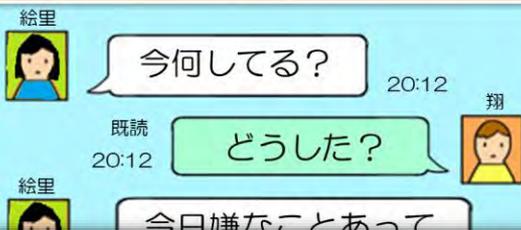


## 実践内容

【1時間目：知人とのネット越しのコミュニケーション】

LINEのトーク例を用いて、アサーションな返答を考える

どうすれば防げるかな？



【3】 Q2.どうすれば防げるかな？

「スタンプをうまく使う。相手の気持ちを考える。今の状況とか気持ちをもって打つ。」

## 反省

活発な意見交換が行われたが、表面的な議論に留まった



★今後の改善★

ディバード形式で話し合う等、より考えを深める工夫をする

# 実践内容

【2時間目:不特定多数の人とのネット越しのコミュニケーション】

Twitterを元に、不適切な投稿とは何か、その危険性と予防策について考える



Q1. この投稿には3つ問題点があります。  
それは何でしょう？



ひろし @hirokichi013149  
なんか、バイト先の 鶴見ガスト に  
右々人が彼女を連れて来たぞ

【1】Q1 投稿の3つの問題点はどこだろう。あわせて、何が問題なのか理由を考えよう。

## 反省

『ダメなことはわかっている、けどこれくらいは大丈夫』  
という意識を変えられなかった



★今後の改善★

より実生活に関連して考えられる題材の準備

## 実践内容

### 【3時間目：情報社会を生きるうえで】

テクノ依存症や児童ポルノ被害、盗撮、歩きスマホなど、  
情報社会で生じている問題について知り、対策を考える



## 反省

ほぼ座学だった



★今後の改善★

グループごとにテーマを変えて対策を考える など

# 実践内容

## 【4時間目：標語をつくろう】

これまでに学んだことを、他者に呼びかける標語の形で表す

第12回 IPA  
「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」2016  
作品募集!!

募集期間 ▶ 2016年4月1日(金) ~ 9月7日(水) (必着)

標語部門      ポスター部門      4コマ漫画部門



〈企画書〉

テーマ	人とのつながり方
標語	送信が自分の未来を左右する
標語の説明	自分が発信しようとしている情報が閲覧している人が傷ついたり誤解をしてしまったりしないかなと発信後の未来まで考えて、慎重に操作しよう!

# 実践内容

## 【4時間目：標語をつくろう】

① テーマを考える



② 標語の作成



③ 4人1グループで  
発表・相互評価



④ 相互評価の確認



⑤ 自己評価

＜相互評価シート＞

出席 番号	発表者	評価点（5段階）			アドバイス
		①標語	②説明の仕方	③総合	

＜評価基準＞

- ⑤ - すばらしい。高校生レベルを超えている。
- ④ - よい。よく考えられており、「なるほど」と納得させられる。
- ③ - 標準的である。きちんと取り組んでいる。
- ② - 頑張っているが、取り組みが甘く、改善点が多い。
- ① - やる気がほとんど感じられない。

# STEP4 評価・アドバイスを記入する

## <評価項目>

### 標語

- ・丁寧に作られているか
- ・表現に工夫がみられるか
- ・明確な意図があるか

### 説明の仕方

- ・大きく聞き取りやすい声か
- ・棒読みせず、顔をあげてコミュニケーションよく話しているか
- ・説明の順序が整理されているか
- ・言いたいことが明確に伝わるように話しているか

### 総合

- ・上記の項目を総合し、発表全体の評価を行う

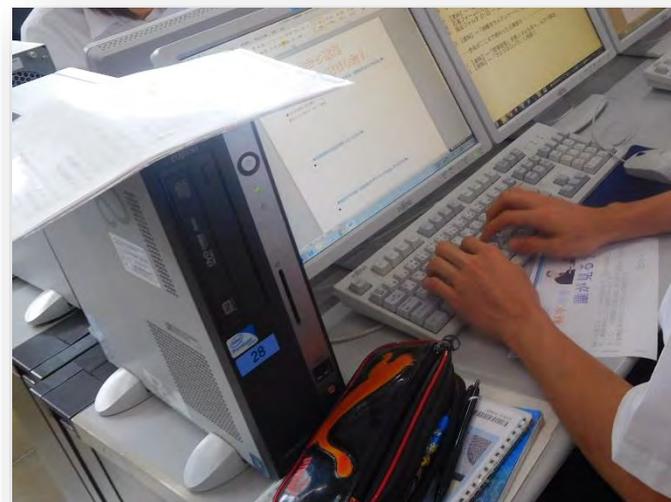
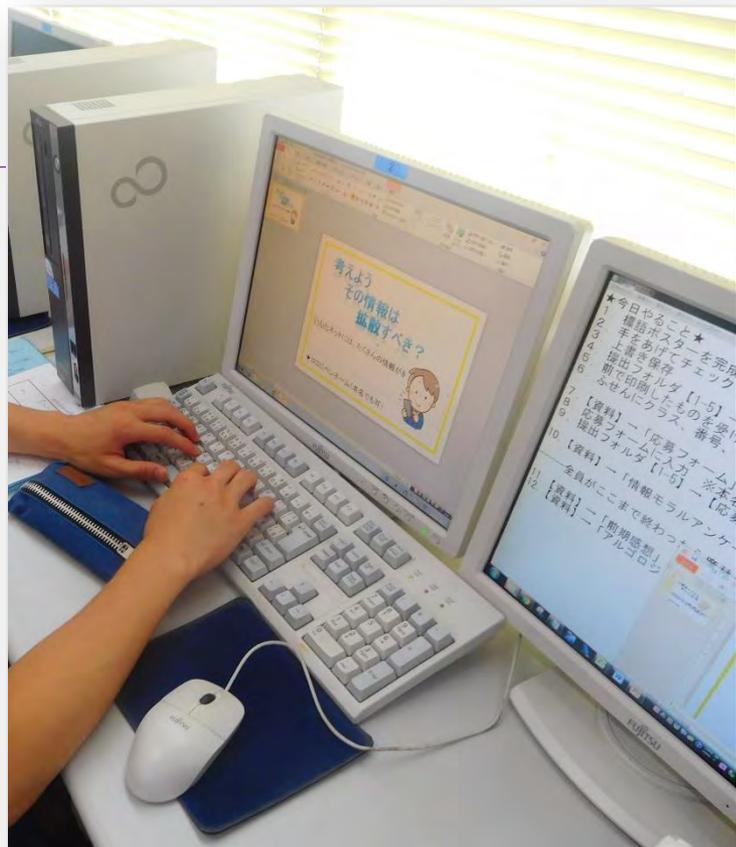
### アドバイス

- ・良い点と改善すべき点を両方書く
- ・読む人が傷つくような書き方は避ける



評価は自分の「見る目」が問われる行為です。  
お互いを高めあえるように責任を持って行いましょう。

## 作成時の様子



## ポスター完成時の様子



---

# 結果と考察



## 結果と考察【ループリック】

---

S

独創的な標語が作成できている

A

明確な意図を加えて標語が作成できている

B

標語が作成できている

C

十分に標語が作成できない



## 結果と考察 【生徒の相互評価】

	<p>声かきこえやすかった。</p>	
①標語	<p>色づかいもなんか危険な感じではなかった。 文字が少し小さくて見えなかつたから大きくとた ら見せたいと思いました。</p>	2
し	<p>具体的な事例も上げていてよかった。</p>	
①標語	<p>絵も可愛いらしくて楽しく見れた。 とてもよい説明だったのでもっと自信をもて声出 ていいと思う。</p>	4
①標語	<p>犯罪は格好よくないという二点を停着させておく で、減らしたいという方向はどても素晴らしいと思っ た。算集もたいへん雰囲気が出た。</p>	

個々の視点から相互評価ができていた

# 結果と考察 【生徒の自己評価】

情報モラルの重要性の再認識

他者との価値観・表現の違いへの気づき

自己の課題の発見

てらしあわせて考えとたくさん思いうかひ。気をつけていかなければならないことが「二人にもよくさんあまを知りあうためて考えまいる」

2. 自分の行った相互評価の反省を書きましよう

~~機~~機会になった。

声の大きさを「は大丈夫だ。たけと」。発表中には  
何度か読みまちが「いや、かんた」りしたところがあった  
ので。そのように口で説明するのを止めかすつけて  
いこうと思う。

## 結果と考察

### 【「携帯電話の使用方法の変化」アンケート】



相手に返信をする前に**自分の文章が相手に勘違いされないか**しっかり見直すようになった。



SNSを利用するときには、一時的な感情に流されずに投稿する前には**必ず2,3回読み直す**ようにした。



**向こう側に相手が存在することを意識**して打つようになった。



LINEやTwitterは、**個人情報や勝手に他人の写真をアップしない**など考えて使用するようになった。

---

まとめ

---



## まとめ【実践の成果】

---

- ▶ 誤解のない表現で相手に伝えるよう心がけることを意識付けられた
- ▶ 写真のネットへの公開に配慮する生徒が増えた
- ▶ グループワークや生徒同士の話し合い活動を多く取り入れたため、お互いの価値観の違いに気づけたり思考を深めたりすることができた



## まとめ【今後の課題】

- ▶ 授業内の理解がまだまだ実生活に結びついていない。
- ▶ グループワークを増やしたため、昨年より進度が遅い。操作スキルは身につけていない。



- ▶ 繰り返し指導を行い、意識の変容を促す
- ▶ より効果的な授業・教材を模索する
- ▶ TTの先生との連携を強化する

生徒の身近なところに焦点を当て、  
実生活に役立つ授業づくりを目指していきたい

ご清聴ありがとうございました  
ご指導のほどよろしく申し上げます

